

平成 29 年 4 月 11 日付【下水道情報】
<JS と水コン協>
連帯強化に向けた合意書を締結

JS と水コン協 連携強化に向けた合意書を締結

日本下水道事業団 (JS) と (一社) 全国上下水道コンサルタント協会は 3 月 23 日、連携強化に向けた合意書を締結した。地方公共団体の状況に応じた最適解を見出すため、それぞれの技術力やマネジメント力を活かしながら、「イコールパートナー」として議論を重ねていく。

今回の合意では、①円滑な災害支援、②地方公共団体の実情に即した支援、③設計等業務の実施における課題の抽出・解決について、相互に協力することとされた。JS 理事クラスと水コン協の正副会長クラスは年に 1 回、定期的に意見交換を行い、JS 理事長と水コン協会長との間でも適宜その場を設ける。また、必要に応じて検討会・部会等を設置し、その成果を意見交換会へ報告する。

23 日に行われた合意書の調印式で JS の辻原俊博理事長は、「下水道は構造変化を迎えており、これまでの仕事のやり方を変えていかなければならない。今回の合意は大変意義深く、できることから取り組み、今後さらに連携を進化させていきたい」と話した。また水コン協の野村喜一会長は、「このような機会をつくっていただき、大変感謝している。事業体それぞれの特徴に合った支援をするため、一緒に進んでいきたい」話した。



締結式で握手を交わす
野村会長 (左) と辻原理事長